

# がんばれ!

# ベアーズ

THE BAD NEWS BEARS

—カラー作品—

愛を投げ、打ち、走る  
はじめて燃えたちび13人



ウォルター・マッソー  
テイタム・オニール

ビック・モロー  
ジャッキー・アール・ヘイリー  
アルフレッド・W・ラター  
ブランドン・クルツ  
クリス・バーンズ

製作/スタンリー・R・ジャッフェ  
監督/マイケル・リッチー  
脚本/ビル・ランカスター(原作二見書房刊)  
撮影/ジョン・A・アロンゾ  
音楽・編曲/ジェリー・フィールディング

パラマウント映画

CIC配給



# ★笑いと感動の傑作!!

スポーツの中でも最高の人気を持つ野球。中でもアメリカでの人気は、プロ・アマ問わず熱狂的なものがある。

そのアメリカの西海岸の町を舞台に、町の少年野球チーム「ベアーズ」が奮戦奮闘して、ペナント・レースを勝ち抜いてゆく姿を、笑いの中に描く最高の傑作である。

「ベアーズ」は少年野球リーグの新参チーム。ところがこのチーム、ダメガキ、ワルガキばかり集ったどうしようもないチーム。他のチームから「ヘタクソ!」「クズ!」と散々けなされる。選手が選手なら監督も監督。グラウンドでタバコと缶ビールを片時も離さない元マイナー・リーグのピッチャー止まりのダメ監督(ウォルター・マッソー)。こんなチームの初陣はリーグ最強チームの「ヤンキース」。1回表ヤンキースの攻撃は、1時間経ってもまだノーアウト。得点は22対0。「ベアーズ」はギブアップ。いくらなんでもこれでは子供達が可哀そうとチームの補強に乗り出した。なんとエースの補強は女の子(ティタム・オニール)。ところがこの女の子、かつてダメな監督がまともな頃にカーブの投げ方で仕込んだ豪球投手。つづいて3番打者に札ツキ少年を連れてくる。2人の投打の大活躍にチームは上昇。とうとうリーグ戦最終日に、優勝を賭けて宿敵「ヤンキース」と対決することになった。さあこの一戦の結末は?

この映画をご覧になった人は「ベアーズ」チームの珍プレーに爆笑し、他のチームからバカにされ、意地悪されながらも一生懸命にプレーするベアーズ・ナインの姿に感激し、ラストでは思わず拍手されるに違いない。

※アメリカでは76年4月に公開され、家族揃って楽しめる娯楽映画として今なお大ヒットを続けており、日本では早くも青少年福祉審議会をはじめ各種団体から推薦を得ている。

女の子も!男の子も!  
世界中がベアーズに夢中!

## がんばれ! ベアーズ

THE BAD NEWS BEARS

〈カラー作品〉



パラマウント映画  
CIC配給

●スタッフ

製作.....スタンリー・R. ジェット・フエ  
監督.....マイケル・ランカスター  
脚本.....ジョン・アロンゾ  
撮影.....ジョン・アロンゾ  
音楽編曲.....ジェリー・フィールディング  
編集.....リチャード・A. ハリス

●キャスト

バスター・マッカー.....ウォルター・マッソー  
アマンド.....ティタム・オニール  
ロイ・ターナー.....ティタム・オニール  
ケリー.....ジャッキー・アール・ヘイリー  
オギルビー.....アルフレッド・W. ラッター  
ジョイ.....ブランドン・クルツ  
ジョイ・ターナー.....クリス・バランド  
アーマッド.....エリン・ブランド  
エンゲルバーグ.....ゲネリー・カバナロ  
ルーバス.....クイン・スミス

(上映時間 1時間43分)

### ★この映画を作った人々

子供たちの世界を自然に、生き生きと描き出した脚本は、今年26歳の新鋭ビル・ランカスター(俳優バート・ランカスターの息子)の手によるもので、これを「さよならコロンのバス」のスタンリー・R・ジャッフェがプロデュースし、「白銀のレーサー」、「候補者ビル・マッケー」など常に勝負をテーマにした作品を手掛けているマイケル・リッチーが監督している。

また撮影はジョン・A・アロンゾが、手持ち式のパナフレックス二台を使い独特の画面構成を生み出し、音楽はジェリー・フィールディングが、ビゼーの「カルメン組曲」をうまくアレンジして効果をあげている。

### ★この映画に登場する人々

名優ウォルター・マッソーの相変らずのボケぶりも楽しいが、この映画の本当の主演はちびっ子たちであろう。

「ペーパームーン」で史上最年少のアカデミー受賞者となった恐るべき子役ティタム・オニール嬢。映画ではチーム紅一点の黄金投手として大活躍する。更に「アリスの恋」でアリスの息子を演じたアルフレッド・ラター君、「イナゴの日」で生意気な金髪少年を演じたジャック・アール・ヘイリー君、TV「エディの素敵なパパ」のブランドン・クルツ君など「ベアーズ」の面々は、まさに子役のオールスター・チームである。

他の少年たちは、この映画のために全米からスカウトされた10歳から13歳までの素人の少年たちである。



12月11(出)よりロードショー! 特別鑑賞券 ¥1,000 絶賛発売中!  
(一般 ¥1,300・学生 ¥1,100の処)

ヒビヤ スカラ座 (591) 5355